

J-クレジット制度管理者 御中

## 実績確認概要書

平成30年2月20日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	広島市立安佐市民病院における省エネルギー設備導入事業
承認番号	KC0573
排出削減事業者名	広島市病院事業局安佐市民病院
排出削減共同実施事業者名	J-クレジット制度事務局（みずほ情報総研株式会社） （その他関連事業者名：なし）
事業実施場所	広島市安佐市民病院 （広島市安佐北区可部南二丁目1番1号）□
事業の概要	広島市立安佐市民病院におけるボイラーの更新、業務用エコキュートの導入、空調設備を高効率設備へ更新することで、病院の省エネを図る。
排出削減量の計画	2009年度：664tCO <sub>2</sub> 2010-11年度：1,447 tCO <sub>2</sub> 2012年度：1,458 tCO <sub>2</sub> 2013年度：1,424 tCO <sub>2</sub> 2014年度：1,428tCO <sub>2</sub> 2015年度：1,436tCO <sub>2</sub> 2016年度：1,436tCO <sub>2</sub> 2017年度： 39tCO <sub>2</sub> （事業実施期間合計 10,779tCO <sub>2</sub> ）
クレジット認証期間	開始日 2009年5月1日 終了予定日 2017年4月30日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新 方法論番号 002 ヒートポンプの導入による熱源設備の更新 方法論番号 004 空調設備の更新

## 2. 本実績確認の対象期間

2013年 4月 1日 ～ 2017年 4月 30日（第4回目実績報告）

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	5,559tCO <sub>2</sub> (2013年4月1日～2017年4月30日)
-------	---

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 更新後ボイラー、ヒートポンプ、空調設備は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間におけるボイラ運転日誌、電力会社からの請求書、運転管理表等により確認した。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 承認排出方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 【方法論 001】 ボイラー燃料使用量はボイラ運転日誌で確認している。 【方法論 002】 ヒートポンプ全体の電力使用量は電力量計による計測データで確認している。そのうち、夜間のヒートポンプ電力使用量については、電力会社からの請求書によって把握している。 【方法論 004】 空調電力使用量については電力量計による計測により確認し

	<p>ている。その記録結果については、正しく実績報告書に反映されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認  排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、方法論、J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.9及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認  事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。  また本事業において、リーケージ排出量は発生しないことを確認している。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2013年4月1日から 2017年4月30日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2017年4月30日となっているため、当該算定結果はクレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。□</p>

## 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

特になし

## 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、

方法論001：原油換算 194.3kL、熱量換算 7532.9GJ

方法論002：原油換算 418.8kL、熱量換算 16,229.3GJ

方法論004：原油換算 1269.7kL、熱量換算 49,202.8GJ

であることを確認した。

なお、前回の実績確認からの変動が大きいのは、前回の実績確認における計算に誤りがあるためである（方法論004「空調設備の更新」における $B_{Pj004}$ 病棟、 $B_{Pj004}$ 外来、 $T_{pj\_c004}$ 外来、 $T_{pj\_h004}$ 外来の各時間に誤りがあることを確認した）。正しい時間に設定し直して、計算した場合、方法論ごとの削減量には大きな変動は起きていない。

以上